

四座講式

指定区分	国指定重要文化財(書跡・典籍)
読みかた	しごこうしき
所在地	備前市蕃山 千手院
指定年月日	明治34年8月2日
解説	平安時代末頃から行われた、仏、菩薩、高僧などを讃嘆する儀式の式次第を記載したもの。その式次第を講式というが、この講式に四つがあり、総称したものを四座講式という。明恵上人(1173年～1232年)の著作で、4巻とも完備しており文章は流麗で書風も優れている。鎌倉時代の作である。
アクセス方法	
公開状況	非公開
設備	駐車場  トイレ  障害者用トイレ 
備考	